

福岡市環境教育・学習計画推進協議会 議事録 要旨

■日 時：平成26年2月10日（月）16：00～17：00

■場 所：アクロス福岡2階セミナー室1

■議事1:会長選出

福岡市環境教育・学習計画推進協議会設置要綱第5条第2項に基づき、委員の互選により、浅野委員を会長に選出。

■議事2:副会長の指名

福岡市環境教育・学習計画推進協議会設置要綱第5条第4項に基づき、会長が吉田委員を副会長に指名。

■議事3:福岡市環境教育・学習計画(第三次)策定について

(事務局) 福岡市環境教育・学習計画(第三次)策定に着手することについて、資料1・資料2に基づき、策定の趣旨・現行計画の概要等を説明。

◇各委員からの主な意見

〈現行計画について〉

- ・基本的方向の並べ方を整理したほうがいい。
- ・福岡市は日本全国の中でも大変人口の入れかわりが激しい街だが、現行計画はそれが前提になっていない。

〈現行計画検証について〉

- ・市民団体のアンケート・ヒアリングはとても重要。
- ・各主体へのヒアリングについて、実際に取り組んでいる方々にどのような苦勞をしているかしっかり聞いていただきたい。
- ・基本的方向の中の細かい項目はそれぞれ評価があるが、10の基本的方向の項目としての評価がない。項目としてはどうだったかというところを進捗確認していただきたい。

〈今後の環境教育・学習の施策の視点等について〉

- ・現在、小・中学校で環境学習のもって行き場がない。学習指導要領が変わったことで、環境学習に充てる時間がないということだが、それは問題である。学校現場と一緒に、環境教育・学習のプログラムの充実をどう図るか考える必要がある。
- ・受講者参加型の自然観察会などをもう少し充実させた方がよい。
- ・学習指導要領の改定で、学校で環境という視点での学習時間がかなり減ってきている現実がある。取り組んでいる学校自体も減ってきている。今後は、総合的な学習の時間でというよりも、あらゆる教科で環境という視点を取り入れていくようにするために、教職員を研修し、指導する教職員の環境問題、環境教育、環境学習に関する意識を昂ぶらせることに重点をおいていく必要がある。
- ・学校ではやらなければならないことが非常にたくさんあるが、教師も環境教育が大事なことは十分わかっていると思うので、やはり教師に研修を行っていただきたい。教師に教えてあげることはずごく大事だと思うので、是非わかりやすい研修をお願いしたい。
- ・学校現場も公民館などの社会教育現場もコマに限りがある。資源の制約の中で環境教育を一生懸命やっている立場から、プログラムの魅力を増やしていただきたい。環境に関する話だけではなく、経済の話の中に環境問題の要素を加えるなど、環境局の枠の中だけにかかわらずにプログラムを組むことをお願いしたい。
- ・環境教育の時間をとるのがなかなか厳しい中で、環境のための教育、環境のための学習に限るのではなくて、あらゆる教科の中に環境の視点を取り込むような取組をという意見は全くそのとおりで、行政の施策でも環境のための講座・学習をやるというだけでなく、全く違う経済などの分野の講座の中にうまく環境の視点を取り込めるような投げかけを環境行政サイドからする。横断的な取り組みの観点で、他部局にも広げていく視点をしっかり持っていないと改めて感じている。

■事務連絡

(事務局) 本年8月頃に次回の協議会を予定していることを報告。

■閉会